

# 乾乳期用セプラビン®「W」

Cepravin® dry cow



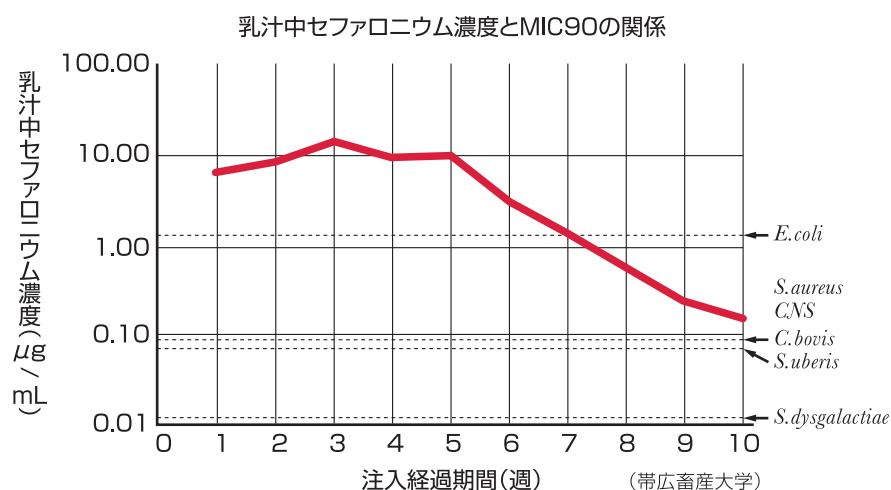
## セプラビンの特徴

- ① グラム陽性菌のみならずグラム陰性の乳房炎起因菌にも強い抗菌活性を示し、その作用は殺菌的である。
- ② ペニシリナーゼに対して安定で、ペニシリン耐性菌にも有効である。
- ③ 1回の投与で全乾乳期間にわたって有効乳房内濃度を維持する。
- ④ 乳房に注入後、速やかに乳腺組織内に拡散し、乳房深部まで浸透する。
- ⑤ 注入に便利なシリンジ型容器である。

## 乾乳牛における乳汁中セファロニウム濃度

(承認申請資料より抜粋)

乾乳期用セプラビン(1容器)を各分房内に注入したホルスタイン種妊娠乾乳牛の乳汁を注入後毎週1回採取して、乳汁内のセファロニウム濃度を測定した結果を下図に示しました。



乾乳期用セプラビン(1容器)を注入した乳房の乳汁内のセファロニウム濃度は、注入後10週目まで0.16μg/mL以上で推移し、乳房炎の一時起因菌であるS.aureus、S.dysgalactiae、E.coliなどの乳汁由来菌に対するセファロニウムのMIC<sub>90</sub>血を超える濃度が55~60日間維持されました。